

情報提供日: 令和6年8月21日

＼国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞」の無事開催を報告します／
今年デビューの「舞男」が龍ヶ崎市長を表敬訪問(8/26)

先月7月28日(日)に開催された国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞」で「舞男」を務めた2名が報告のため、8月26日(月)午後4時に龍ヶ崎市長 萩原 勇を表敬訪問しますので、お知らせします。

当日は、長年舞男を務めてきた谷本 仁(たにもと ひとし)さんと、今年デビューを果たした小菅 真幸(こすげ まさゆき)さんの2名が訪れます。

小菅さんが初めての舞台となった、本番舞台裏の様子なども報告していただく予定となっております。

時節柄ご多忙かと存じますが、ぜひ取材を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

■撞舞の概要

約450年、地域の力により受け継がれ、龍ヶ崎市の夏の風物詩である国選択・県指定無形民俗文化財。

高さ14メートルの龍を象徴する柱「撞柱(つくばしら)」に、笛や太鼓の囃子に合わせて、暗緑色の「たっつけ袴」に雨蛙の面をかぶった「舞男」と呼ばれる演者が登り、柱の頂上で弓を射ったり逆立ちしたり、さまざまな妙技を披露する伝統芸能です。もともとは、雨乞いや五穀豊穡、疫病よけの意味があるといわれています。



今年新たに舞男となった小菅 真幸さんのプロフィール

つくばみらい市在住／39歳(昭和59年11月10日生)

【略歴】

大学卒業後、22歳から「龍ヶ崎鳶職組合」に所属。現在の舞男である大石浩司さんや演技指導をしている方からの勧めもあり、自ら志願して、2017年から後継者として練習に参加。今年の撞舞から舞男デビュー。

■日時	令和6年8月26日(月)午後4時から午後4時30分(予定)
■場所	龍ヶ崎市役所本庁舎3階庁議室(所在地:龍ヶ崎市3710番地)
■参加者	舞男(谷本 仁 様、小菅 真幸 様) 龍ヶ崎市撞舞保存会 会長 瀬尾 雄三 様 外1名 龍ヶ崎鳶職組合 組合長 小菅 庄一 様 外3名 龍ヶ崎市長 萩原 勇
担当課	龍ヶ崎市 市民経済部 商工観光課 商工観光グループ 担当者:名島・木下(なじま・きのした) 連絡先:0297-60-1536(直通)